

2022年度（2023年3月期）第一四半期決算発表説明会

Q & A

Q 1 : 電力セグメント利益の対前回見通し▲194億円について、JEPX 価格高騰影響の規模感および織り込み方について教えて欲しい。

A 1 : JEPX 価格高騰について、数百億円前半程度の収支悪化影響を今回見通しに織り込んだ。なお、今回織り込んだ収支悪化影響については、特に高気温となった6月後半等の1Q実績部分に加え、今秋以降における高騰リスクも一定程度織り込んでいる。

Q 2 : ネットワークセグメント利益の対前回見通し▲44億円について、主な減益要因は何か。

A 2 : 主な要因は2点。1点目は、配賦額が見通せなかった年金数理差異影響について、第一四半期の実績を踏まえ、今回見通しにおいて費用配賦を織り込んだものである。2点目は、単価の高い家庭用のガス販売量が減少したことに伴う、託送収益の減少である。なお、ネットワーク事業は、基本的には安定したビジネスであると考えているが、分社化初年度であり、費用配賦の想定に差異が発生してきているため、今後の収支状況を注視していく。

Q 3 : 都市ガス販売に関する収益認識の方法の変更（会計方針の変更）により遡及修正が行われているが、今回の決算資料における21年度通期実績および21年度1Q実績のセグメント利益はどのように修正されたのか。

A 3 : 都市ガス販売に関する収益認識の方法の変更による遡及修正により、都市ガス利益が21年度通期実績については+96億円、21年度1Q実績については、▲71億円の修正が生じ、同額、セグメント利益全体も修正されている。

Q 4 : ロシアのサハリン2の現在のLNG調達状況について教えて欲しい。

A 4 : 様々な報道がされているが、現時点では、当社のLNG調達に影響は出ていない。今後の動向を注視しつつ、政府・関係機関等と連携し、安定供給に万全を期していく。

以上